今、日本の元気のために、私たちにできること

長野から元気を！

被災地に行かなくても、私たちにはできることがあります。

2011年3月11日、東北地方を襲った未曾有の大震災。翌日未明に発生した地震では、長野県栄村も大きな被害を受けました。あまたの人命と、財産と、産業の基盤が失われたダメージはあまりに大きく、被災地はもとより日本全体が、今も意気消沈しています。被災地の痛みに思いを寄せ、物心両面で支援することは大切です。しかし、支援する側がまず元気でなければ、被災地を支え続けることなどできません。幸いにして被災を免れた私たちがしなければならないこと、それは、自らの元気を取り戻し、被災地へ、全国へ、その元気を届けることです。「何でも自粛」でいつまでも消費を控えたりイベントを見合わせるのは、その元気を奪うことにほかなりません。小さな力も、集まれば復興の大きな力になります。信州を元気に、長野から元気に！私たちは長野から被災地の復興を支えます。

長野商工会議所　会頭　加藤久雄

被災地へ、全国へ！

私たちは取り組みます

- 「長野びんずる」「長野えびす講 煙火大会」等の恒例行事を予定通り実施してまいります。
- 活発な経済活動を促す施策を、会員とともに実施してまいります。
- 全国、県内の商工会議所や行政機関とも連携し、被災地の復旧のための必要な対策に協力してまいります。

地域の皆さまへのお願い

- 行楽や旅行等、レジャーを自粛することなく、積極的に参加しましょう。
- 義援金付商品の購入やサービスを積極的に利用しましょう。
- 「長野は元気」。明るく元気になる地元情報を積極的に伝えましょう。
- 県内外からのお客様を心を込めてもてなしましょう。

長野商工会議所（役員・議員一同）

長野商工会議所篠ノ井支部

長野商工会議所松代支部

このページの広告費の一部は被災地支援のために寄付させていただきます。（信濃毎日新聞社広告局）